

Combi

コンビジュニアシート ムーヴフィットジュニア シリーズ

汎用型：質量グループ 2, 3

体 重：15kg 以上～ 36kg 以下の学童用

取扱説明書

品質保証書付



- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。
- 38 ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。
- 本書は、座面裏に保管してください。(14 ページ参照)





安全にお使いいただくために

このたびは、コンビジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

ジュニアシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

●表示について

本書では、安全に正しくお使いいただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 ワンポイント	ジュニアシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方がシートベルトをはずし、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

もくじ

お使いいただく前に

■安全にお使いいただくために	1
△ 緊急時の脱出.....	1
お使いいただけるお子さまの条件.....	3
取り付けできない座席.....	4
シートベルトの種類と使用上の注意点.....	5
△ 危険.....	7
△ 警告.....	8
△ 注意.....	10
■梱包品と組み立てかた.....	12
■各部のなまえ.....	14

■使いかた.....	15
1 ドリンクホルダーの取り付けかた.....	15
2 ベルトガイド（ヘッドレスト）の高さ調節.....	17
3 肩ベルトガイドの幅調節.....	19

■ジュニアモード.....	20
お子さまを座らせる前の準備.....	21
お子さまの座らせかた.....	22
ジュニアモードの完了チェック.....	24

■ブースターモード.....	25
背もたれのはずしかた.....	26
お子さまを座らせる前の準備.....	27
お子さまの座らせかた.....	28
ブースターモードの完了チェック.....	30

■お手入れのしかた.....	31
----------------	----

■保管のしかた.....	36
--------------	----

■廃棄のしかた.....	36
--------------	----

■製品仕様.....	37
------------	----

■品質保証書.....	38
-------------	----

■角度チェッカー.....	裏表紙
---------------	-----

安全にお使いいただくために

お使いいただけるお子さまの条件

本製品は、お子さまの成長に合わせて2通りの使いかたができます。

ジュニアモード

体重条件：15kg 以上～36kg 以下

身長目安：95cm～145cm 程度

年齢目安：3才ころ～11才ころ

使用方法：車のシートベルトを背もたれの肩ベルトガイドと座面部の腰ベルトガイドに通します。



ブースターモード

体重条件：22kg 以上～36kg 以下

身長目安：115cm～145cm 程度

年齢目安：6才ころ～11才ころ

使用方法：背もたれをはずし、座面部の腰ベルトガイドに車のシートベルトを通します。
また、肩ベルトをお子さまの体に合わせるためにベルトポジショナーを使用します。

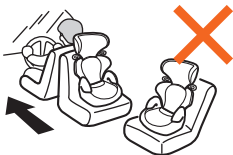


「身長目安」や「年齢目安」は、あくまでも目安です。身長や年齢が上記条件を満たしていても、「体重条件」を満たしていないお子さまはお使いになれません。

取り付けできない座席

次の条件のいずれか 1 つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

- 進行方向に対して**横向き**、または**後向き**の座席。



- **エアバッグ**装備の座席。
サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- シートベルトの取り付け幅が**32cm 未満**の座席。



- 座席の中央が**極端に盛り上がり**っていて、取り付けたときに不安定になる座席。



- **パッシブシートベルト**の付いた座席。

※パッシブシートベルトとは
…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)

- **極端なバケットシート**。

…座面の中央が極端にへこんでいる座席。



- 座面の奥行きが**40cm 未満**の座席。



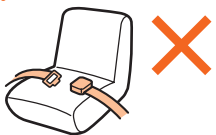
安全にお使いいただくために

取り付けできない座席

- シートベルトの付いていない座席。



- 2点式シートベルトの座席。



- 車のバックルボタンとアームレストがぶつかる座席。



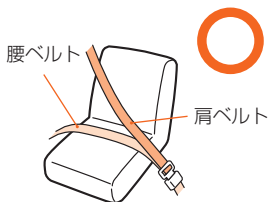
ジュニアシートは、前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめいたします。

シート

本製品は、シートベルトの種類により使いかたが異なったり、使用できない場合があります。

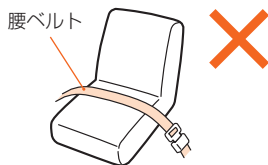
3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。(2点式シートベルトには取り付けられません)



ベルトの種類と使用上の注意点



- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

本装置は UN/ECE 規則 No.16 または他の同等の基準に基づいて認可された3点式安全ベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

*日本国内で登録されている自動車はほぼ適合しております。車種適合につきましては下記サイトにてご確認ください。

<http://www.combibaby.com>

シートベルトの種類と特徴 (見分けかた)		取り付け上の 注意点
ELR	ゆっくりと引くとベルトが自由に入出力し、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR	ベルトをすべて引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。 (ベルトをすべて巻き戻すと解除される)	シートベルトをすべて引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能は解除してから取り付けてください。
NR	巻き取り装置の付いていないシートベルト。	ジュニアシートに合わせてシートベルトの長さを調節してください。
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。	
ALR	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。	使用できません。

安全にお使いいただくために

⚠ 危険

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります

- 使用条件に適合しないお子さま・座席などでは使用しないでください。



- エアバッグ装備の座席では使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

- 車のシートベルトや座席の種類などにより、取扱説明書どおりにしっかりと使用できないときは、他の座席に取り付けてください。



- お子さまがジュニアシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。



- ご使用になるときは、シートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。



- 車に取り付けるときは、必ず車のシートベルトで固定してください。ひもなど、シートベルト以外のもの固定しないでください。



⚠ 警告

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります

- お子さまを車内に 1 人で放置しないでください。日差しの強い日などには車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者が同乗してください。



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1 度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。



- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。



- シートベルトをたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまがしめつけられ、胸が圧迫されます。(6 ページ参照)



安全にお使いいただくために

警告

次のような使いかたは、同乗している方やお子さまに、危険をまねくおそれがあります

- お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合には、助手席には取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。



⚠ 注意

- 直射日光が当たると、本体やシートベルトの差込金具などが熱くなり、**やけどをする恐れ**があります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。

また、お子さまを乗せる前に各部にさわって、やけどをしないことを確認してから使用してください。



- **走行中は**、ジュニアシートの**操作や調整をしない**でください。

また、同乗している他のお子さまがジュニアシートを操作しないようにしてください。



- 座席の表皮素材（革など）および形状によっては、取り付けられた座席に傷や跡がつくおそれがあります。別売りの「コンビズレ防止・保護シート」の使用をおすすめいたします。

- ジュニアシートを**車のシート可動部やドアにはさまない**ように、十分注意してください。



- ジュニアシートを**改造しない**でください。

また、本書に記載されていない**取り扱いをしない**でください。



- 背もたれのみでは、**使用しない**でください。



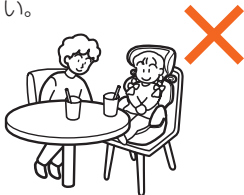
- 車の座席にクッションや座ぶとんなどを敷いたまま、**取り付けない**でください。



安全にお使いいただくために

⚠ 注意

- 通常の椅子として使用すると、転倒してけがの原因となります。本来の目的以外には使用しないでください。



- 固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たる可能性があります。



- 風雨にさらさないでください。



- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものを取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。）



- 組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面部から背もたれがはずれることのないよう、しっかりと支えてください。



- 背もたれと座面の接合部に指などはさまないように注意してください。



梱包品と組み立てかた

組み立て前に、下記の各部品がそろっていることを確認してください。

梱包品

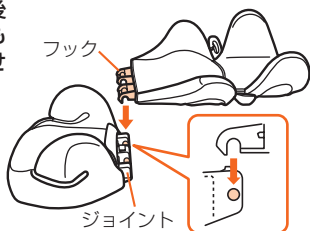
座面	1	取扱説明書（本書）.....	1
背もたれ.....	1		
ドリンクホルダー	1		

組み立てかた

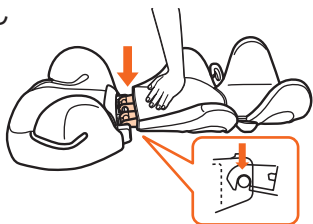


- 組み立てたときに、背もたれと座面の接合部に指などをはさまないように注意してください。
- 組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面から背もたれがはずれることのないようにしっかりと支えてください。

- 1** 平らな場所で、座面後部のジョイントに背もたれのフックを合わせます。



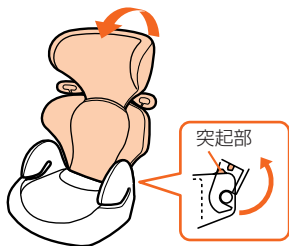
- 2** 背もたれの下部を手で押さえ、フックを押し込みます。




次ページに続く→

梱包品と組み立てかた

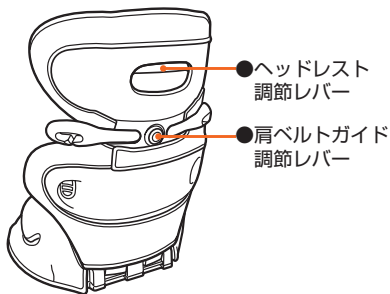
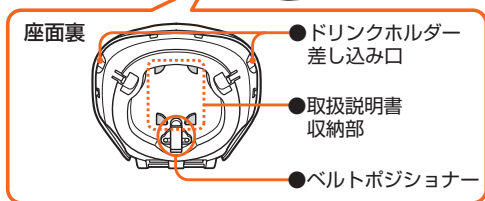
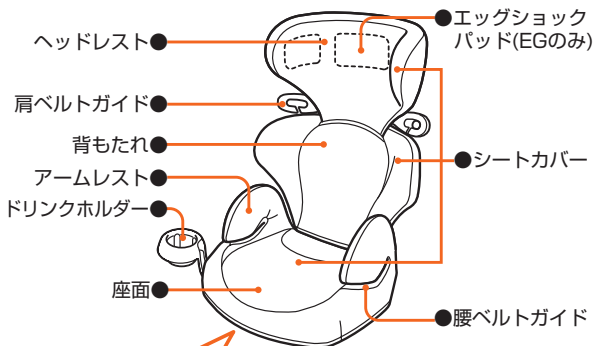
- 3 背もたれを起こし、
ジョイントの突起部を
越えるまで背もたれを
立てます。



ワンポイント
 ジョイントの突起を越え
ないと、背もたれは自立
しません。

各部のなまえ

お使いいただく前に



使いかた

1 ドリンクホルダーの取り付けかた

ドリンクホルダーは、座面の左右どちらでも、取り付けることができます。



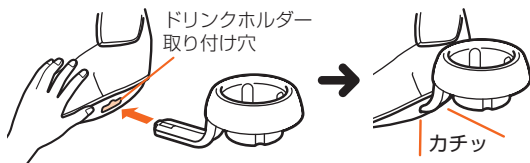
- ドリンクホルダーに熱い飲物を入れないでください。やけどをするおそれがあります
- ドリンクホルダーが車のドアなどにぶつかる場合は、反対側に付けなおしてください。
- シフトブレーキやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。
- お子さまがドリンクホルダーに体重をかけないようにご注意ください。破損するおそれがあります。



ドリンクホルダーはすべてのドリンクサイズには適応できません。ドリンクホルダー内の飲物が安定していることを確認の上、ご使用ください。

取り付けかた

- ① シートカバーをめくります。
- ② 座面の取り付け穴にドリンクホルダーを『カチッ』と音がするまで、しっかり押し込みます。
- ③ ドリンクホルダーをひっぱり、抜けないことを確認します。



はずしかた

座面裏にあるドリンクホルダーの固定用ツメを引き上げたまま、ドリンクホルダーを引き抜きます。



使いかた

2 肩ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さ調節

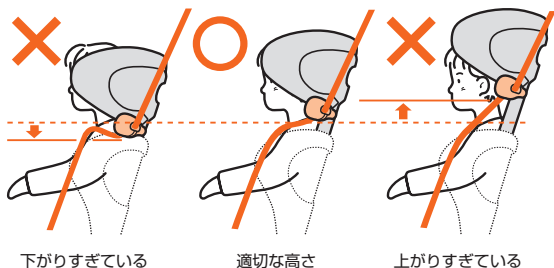
お子さまの体格にあわせて、ヘッドレストの高さを調節し、肩ベルトガイドの高さを適切な高さにしてください。



- 肩ベルトガイドは、車のシートベルト(肩ベルト)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドレストの高さを調節し直してください。
- お子さまの後頭部が、ヘッドレストの一番高い位置よりも上に出る場合は、背もたれを取りはずしてご使用ください。(26 ページ参照) そのまま使用すると、事故などの衝突時に、大変危険です。

肩ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さの目安

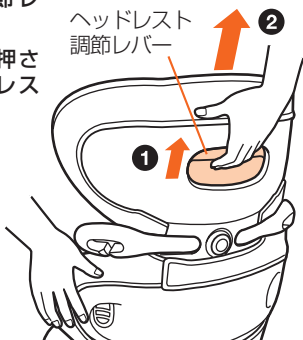
肩ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



肩ベルトガイド（ヘッドレスト）の高さ調節

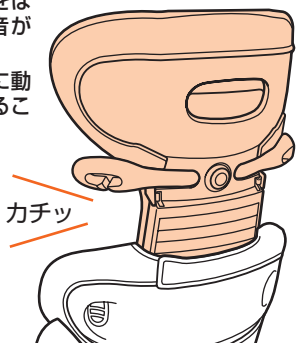
肩ベルトガイドの高さは、7段階に調節できます。

- 1 **①** ヘッドレスト調節レバーを引き、
- 2 **②** 片手で背もたれを押さえたまま、ヘッドレストを引き上げます。



使
い
か
た

- 2 **①** 適切な高さでレバーをはずし、「カチッ」と音がするのを確認します。
- 2 **②** ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認します。



ワンポイント



下げるときも、同様の手順で行ってください。

注意

高さ調節をするときには、指をはさまないようにご注意ください。

使いかた

3 肩ベルトガイドの幅調節

お子さまの体格にあわせて調節してください。肩ベルトガイドの幅調節は2段階です。

肩ベルトガイドの幅の目安

お子さまの首にベルトがかからないように、またお子さまの肩からベルトがはずれないように調節してください。

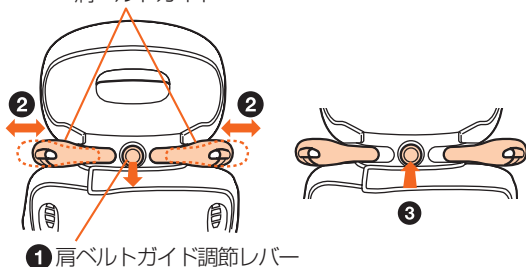


使いかた

調節のしかた

- ① ヘッドレスト背面の肩ベルトガイド調節レバーを引きながら
- ② 肩ベルトガイドを調節（内側・外側の2段階）します。
- ③ 調節レバーを戻して肩ベルトガイドが固定されていることを確認します。

肩ベルトガイド



① 肩ベルトガイド調節レバー

ワンポイント



肩ベルトガイドは、左右両側を同時に調節することをおすすめします。

ジュニアモード

- 体重条件……15kg 以上～ 36kg 以下
- 身長を目安……95cm ～ 145cm 程度
- 年齢を目安……3 才ころ～ 11 才ころ

車のシートベルトをヘッドレストの肩ベルトガイドと座面の腰ベルトガイドに通して使用します。



危険

- 必ず3点式シートベルトの座席で使用してください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- お子さまが座っていないときでも、必ずシートベルトを取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。



警告

- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、6ページをご覧ください)
- シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

ジュニアモード

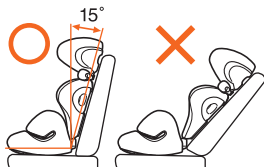
お子さまを座らせる前の準備



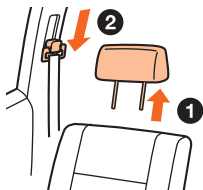
警告

●車の座席がリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体がシートベルトの下からすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあり危険です。

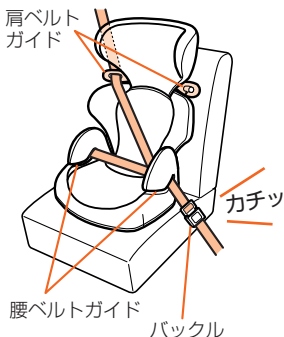
●車の座席角度に合わせて、 15° 前後の傾きで使用してください。角度を確かめるときは、本書裏表紙の角度チェッカーをご利用ください。



- 1 座席のヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずします。
- 2 シートベルトの肩の高さが調節できる場合は下げておきます。



- 2 ジュニアシートを車の座席に置き、シートベルトを引き出して、図のように肩ベルトガイドと腰ベルトガイドに通し、バックルに『カチッ』と音がするまで差し込みます。



警告

お子さまを座らせていないときは、つねにこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

お子さまを、座面に深く座らせてください。

⚠
警告

お子さまを図のように座らせると、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。

● 極端に体を傾けて座っている。



● 中腰・正座・立てひざなどをする。



● のけぞる、前かがみになる。



⚠
注意

背もたれと座面の間に衣服をはさむおそれがあります。注意してください。

1 バックルをいったんはずし、お子さまを深く座らせ、シートベルトを引き出して図のようにバックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



ジュニアモード

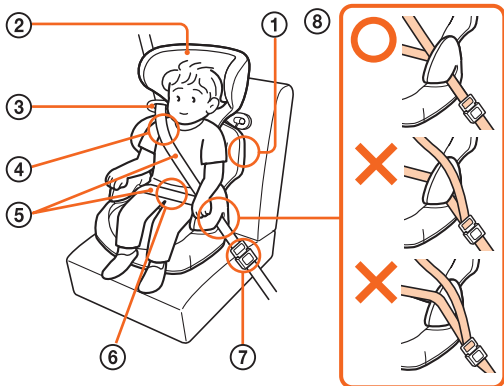


- お子さまが1人で乗り降りすると、車の座席からずり落ちたりするおそれがあります。必ず、保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- お子さまの腕は、必ずシートベルトの上になるようにしてください。



ジュニアモードの完了チェック

お子さまを座らせ、シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。



- ① 車の座席とジュニアシートの上に大きなすき間がないこと。
- ② ベルトガイド（ヘッドレスト）の高さが正しく調節されていること。
- ③ シートベルト（肩ベルト）が肩ベルトガイドを通っていること。
- ④ 肩ベルトがお子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ⑤ シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ⑥ シートベルト（腰ベルト）がお子さまの腰骨を押さえていること。
- ⑦ シートベルトのタングが、バックルに差し込まれており、はずれないこと。
- ⑧ シートベルト（肩ベルト・腰ベルト）が腰ベルトガイドを通っていること。



これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、21～23ページの手順の必要なステップを、もう一度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

ブースターモード

- 体重条件……22kg 以上～ 36kg 以下
- 身長を目安……115cm ～ 145cm 程度
- 年齢を目安……6 才ころ～ 11 才ころ

背もたれをはずし、座面部の腰ベルトガイドにシートベルトを通します。

また、肩ベルトをお子さまの体に合わせるためにベルトポジションナーを使用します。



危険

- 必ず 3 点式シートベルトの座席で使用してください。2 点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- お子さまが座っていないときでも、必ずシートベルトを取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。

警告

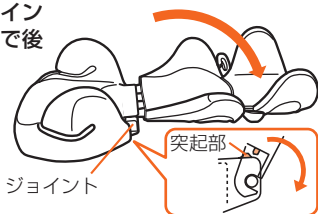
- ブースターモード時は必ずベルトポジションナーを使用してください。
- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、6 ページをご覧ください)
- シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

背もたれのはずしかた

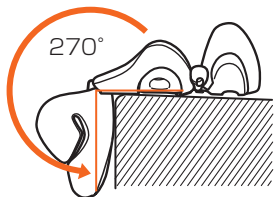
背もたれをはずすときは、座面と背もたれの間を270°まで倒せる場所で行ってください。



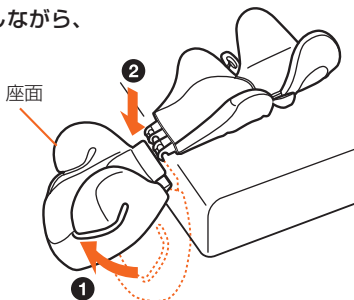
- 1 背もたれを、座面ジョイントの突起部を越えるまで後ろに倒します。



- 2 座面と背もたれの間を270°まで開きます。



- 3 ① 座面を少し戻しながら、
② はずします。



ブースターモード

お子さまを座らせる前の準備

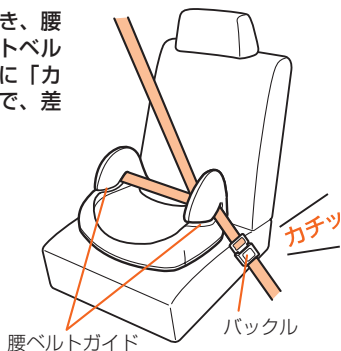
⚠
警告

車の座席がリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体がシートベルトの下からすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあり危険です。



1 車の座席のヘッドレストをはずしている場合は取り付けます。

2 座面を車の座席に置き、腰ベルトガイドにシートベルトを通し、バックルに「カチッ」と音がするまで、差し込みます。

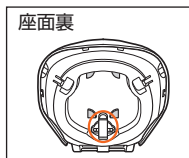
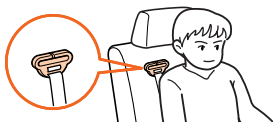


⚠
警告

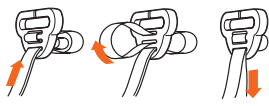
お子さまを座らせていないときは、つねにこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

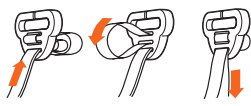
- 1 お子さまを深く座らせ、肩の高さに合わせてベルトポジショナーの長さを調整します。
*ベルトポジショナーは座面裏に収納されています。



短くする場合



長くする場合



- 2 お子さまを深く座らせ、シートベルトを引き出して、肩シートベルトをベルトポジショナーに通し、腰シートベルトを腰ベルトガイド（アームレストの下）に通します。
図のようにバックルに「カチッ」と音がするまで、差し込みます。



ブースターモード



お子さまの腕は、必ずシートベルトの上になるようにしてください。



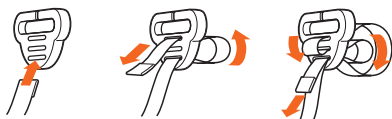
ベルトポジショナーの正しい位置

ベルトポジショナーは図のように肩と同じ高さになるように調整し、車両シートベルトがお子さまのからだに合うようにしてください。



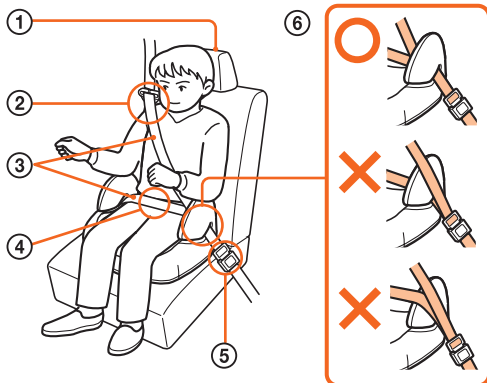
ベルトの通しかた

ベルトポジショナーのベルトがはずれてしまった場合は、図のようにベルトを通してください。



ブースターモードの完了チェック

お子さまを座らせ、シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。



- ① 車の座席のヘッドレストが取り付けられていること。
- ② 肩ベルトがベルトポジショナーを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ③ シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ④ 腰ベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
- ⑤ シートベルトのタングが、バックルにしっかりと差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥ シートベルト（肩ベルト・腰ベルト）が腰ベルトガイドを通っていること。



これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、27～29ページの手順の必要なステップを、もう一度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

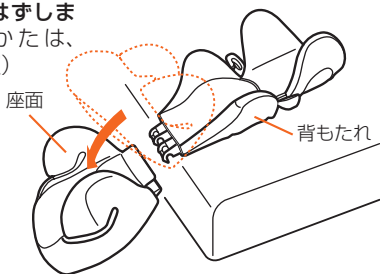
お手入れのしかた

シートカバーのはずしかた

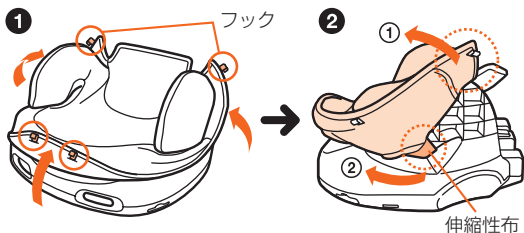


シートカバーをはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(安全性能に影響を与えるおそれがあります)

- 1** ジュニアシートの背もたれと座面をはずします。(はずしかたは、26 ページ参照)



- 2** ① 座面のフック 4 ヲ所をはずし、
② アームレストは図の手順 (① ~ ②) ではずし、シートカバーを取りはずします。



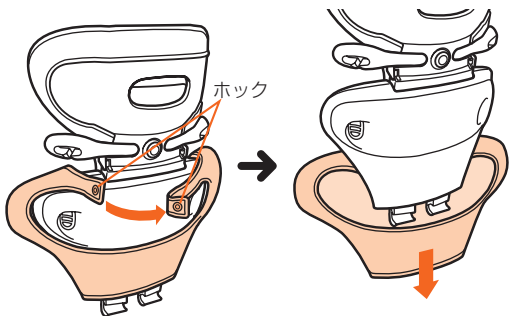
ワンポイント



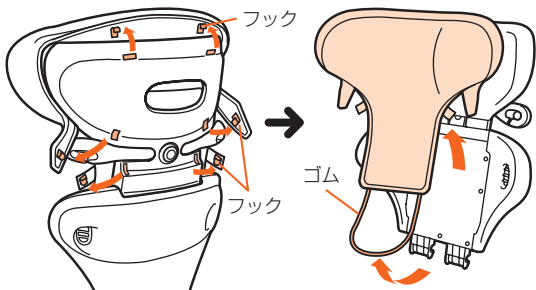
アームレストをはずすには

① のシートの端を半分ほどはずし、次に ② の赤い伸縮性の布の部分はずします。

- 3 背もたれのホック 1 ヲ所をはずし、背もたれからシートカバーを引き抜きます。



- 4 ヘッドレスト背面のフック 6 ヲ所と、背もたれ下端に引っかけてあるゴムをはずし、シートカバーを取りはずします。



ワンポイント



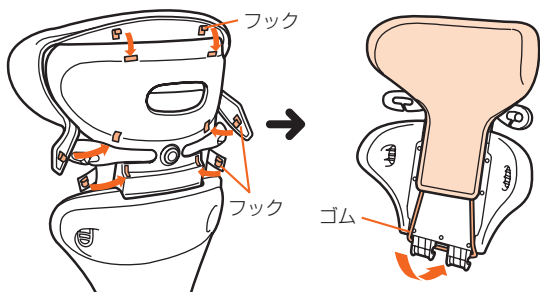
肩ベルトガイド下のフックがはずしにくいときは、ヘッドレストを高くすると、はずしやすくなります。

お手入れのしかた

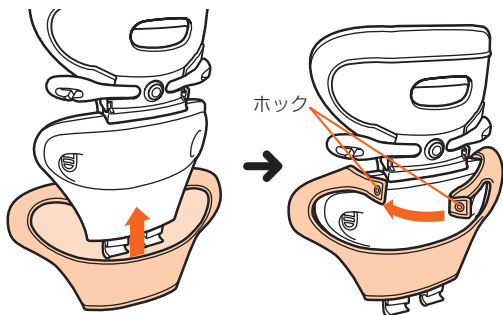
お手入れのしかた

シートカバーの取り付けかた

- 1 ヘッドレストに、シートカバーをかぶせ、ヘッドレスト背面のフック6カ所を取り付け、背もたれ下端にゴムを引っかけます。



- 2 前後の向きをあわせて、背もたれにシートカバーをかぶせ、ホック1カ所をとめます。



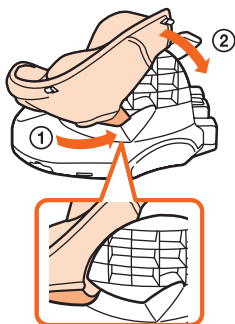
3 座面のシートカバーを取り付けます。

- ① アームレストにシートカバーをかぶせます。

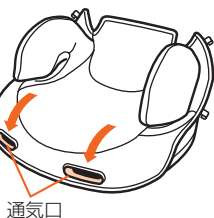
ワンポイント



図のようにアームレストの先端を、シートカバーの内側に十分入れてから、全体をかぶせます。



- ② 通気口がある場合は、通気口の周りを取り付けます。

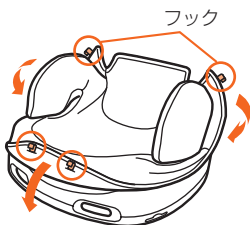


ワンポイント



通気口は、外側、内側の順に取り付けてください。

- ③ フック 4 ヲ所を取り付けます。



お手入れのしかた

お手入れのしかた

シートカバーの洗いかた

洗濯時は、次のことを守ってください。

	液温は 30℃を上限として手洗いしてください。		塩素系漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。		ドライクリーニングはしないでください。
	強く絞ると、シワが残ることがあります。		日陰で平干ししてください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

※洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。

本体のお手入れのしかた

通常は、かたく絞った布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体を傷めるおそれがあり、危険です。

保管のしかた

本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、座面裏の収納部にはさみ込んで保管してください。(14 ページ参照)

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規定にしたがい処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1 度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないように縫製品などはずして、廃棄してください。

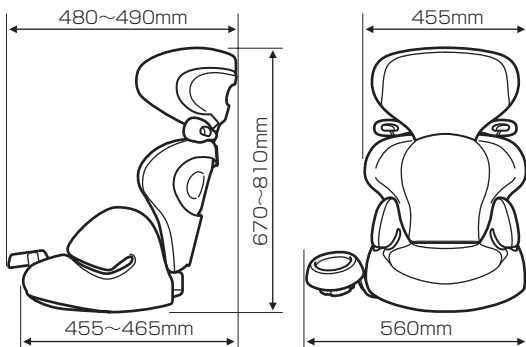
製品を安全に、正しくお使いいただくために。

製品を安全に正しくお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。下記のホームページをご覧ください。

<http://www.combi.co.jp/safetyinfo/index.html>

製品仕様

製品サイズ



製品質量：●本体…4.2kg

材 料：●本体…ポリプロピレン

●ドリンクホルダー…ポリプロピレン

●シートカバー

表生地…ポリエステル、ポリウレタン(EGのみ)

クッション材…ポリウレタン、ポリスチレン

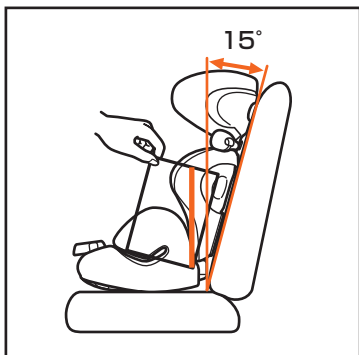
Combi

コンビ
ムーヴフィット
ジュニア

ジュニアシートを車の座席角度にあわせて、15度前後に傾けます。

図のように、本書をジュニアシートの背もたれにあわせませす。

赤いラインが垂直になったら、約15度の角度です。



角度チェッカー

ジュニアシートを車に取り付けたときの、正しい角度の目安としてお使いください。

このラインを垂直にします。

Web上にコンビの育児サイトを開設しています

コンビの製品&育児情報サイト・コンビタウン
<http://www.combibaby.com>

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：10:00～17:00 (日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271

■総合受付 (各種ご相談) 窓口 商品に関するお問い合わせ/修理のご要望/各種ご相談/その他

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

■部品販売 (相談) 窓口 部品購入のお問い合わせとご注文

TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*ホームページのご案内 <http://www.combi.co.jp/cp/>